

みんなで楽しくスポーツを

No.284 2021年6月



第10期スーパー讃岐っ子修了式
R3.3.14 (香川県教育センター)



スーパー讃岐っ子育成プログラム
競技体験 (銃剣道)
R2.12.12 (尽誠学園高等学校)

スポーツで夢を叶えよう



総合型クラブエキスパート派遣事業
(一般社団法人スポーツフェライン高松: 少年野球教室)
R3.2.27 (亀阜小学校運動場)
講師: 高橋壘氏

- オリ・パラ特集
元全日本男子バレーボール選手・監督 植田辰哉
- スポーツのすすめ
香川陸上競技協会 会長 詫間茂
- 東京2020オリンピック聖火リレー聖火ランナーの声
渡辺英幸、市ヶ谷奈々
- わが町のスポーツ自慢
直島町、まんのう町
- かがわのスポーツ・レクリエーション
- かがわのスポーツ・インフォメーション





「目的(夢)と目標を持つことで
行動が変わる
(自分の可能性を信じて行動しよう)」

元全日本男子バレーボール選手・監督

植田 辰哉

夢が目標に変わった少年期

私の結婚式で、白鳥中学で私の担任をしていただいた谷川先生が当時私が書いた作文を読んでくださいました。

そこには、「僕は将来オリンピック選手になる」と書かれていました。どのような心境で書いたかは覚えていませんが、夢を持ったことがその後の自分の行動を変えたのだと思います。

私の人生の分岐点の最初は、中学3年生の春でした。春の高校バレー決勝戦、大阪商業大学付属高校(現大阪商業大学高等学校(以下大商大付属高校))対藤沢商業高校をテレビで観た私は、大商大付属高校の迫力あるプレーに感動し、バレーボー

ルをするなら大商大付属高校でやりたいと強く思いました。

当時の大商大付属高校の実力は、全国トップレベルにあり、今考えれば、私(当時172cm)が挑戦するには無謀ともいえる挑戦でした。私には一般入試で受験、合格し進学したものの、レベルの差は歴然で、ボールを触らせてもらえない日々が続きました。毎日ランニングやトレーニングが中心で、技術練習はほとんど行わなかったと記憶しています。

しかし、私の身長は急激に伸びはじめ、1年生の後半までに190cmを超し、2年生の春には195cmに到達しました。身長が伸びたことで監督の上野先生の目に留まり、いきなりレギュラーに抜擢されることとなり、私のアスリート人生はスター



トしたのです。上野先生との出会いが私の人生を変えたといっても過言ではありません。

運命的な出会いをした高校時代

高校時代に全国大会で準優勝(3年生のインターハイ)を果たすなど、様々な大会で成績を残しました。3年生時には、全日本高校選抜チームに選出され、横浜で行われた国際大会に出場しました。その際にコインランドリーで洗濯をしていた時に偶然出会った女子学生の中に、今の妻がおり、バレーボールがきっかけでくれた出会いであったと懐かしく思います。

人生を大きく変えた大阪商業大学での学び

高校卒業後、大阪商業大学に進学し、バレーボール漬けの毎日を送りました。当時は連帯責任が当たり前で、同級生が何かミスをすれば全員が責任を負わなければならず、1年生時は地獄の毎日でした。高校と違い、練習は4年生が考え、責任をもつて進めており、下級生は常に緊張していました。

現在では、上級生、下級生の立場は昔ほど厳しいものではないように感じますが、私は大学時代に上下関係の厳しさと各学年での責任というものを学びました。チームの結果が出ないときは、4年生が監督から強く叱られました。3年生は気楽な立場でしたが、次は自分たちの時代が来るといった危機感もあったと思います。2年生は1年生の雑用から解放されますが、新1年生の教育担当として重要な役割がありました。

私は大阪商業大学でたくさんの方とを学びました。大阪商業大学の建

学の理念である「世に役立つ人物の養成」は私が所属したバレーボール部の先輩後輩は社会に出てからも実践しており、スポーツ界に限らず様々な分野で活躍しています。

信頼を勝ち取るために がむしやりに練習した青年期

大学卒業後、新日本製鐵（現日本製鐵）に入社し、バレーボール部（現堺ブレイザーズ）で36歳まで現役を続けました。その間日本リーグ3連覇をはじめ、多くのタイトルを獲得しました。そして、26歳の時に高校3年生の時、横浜で偶然出会った女性と結婚し、翌年の1992年のバルセロナオリンピックに主将として出場（6位入賞）。この年に長男が誕生しました。大学卒業後の4年間（23歳〜27歳）は私にとって公私ともに大きく飛躍できた時期でした。

指導者としての挑戦

1992年のバルセロナオリンピック以降、日本の男子バレーボールは3大会連続でオリンピック出場を逃すなど厳しい状況でした。2005年に日本代表監督に就任した私は、フィジカルトレーニングによる体力強化を中心に、食育（日本代表としては初めて栄養士の登用）の徹底や、プランニングの共有など様々な改革を実施し、2008年の北京オリンピックに16年ぶりの出場を果たしました。

アジア最終予選では、初戦のイタリア戦にフルセットで敗戦した日から、食欲が落ち、予選期間中は精神的、肉体的にも限界でした。五輪出場を決めたアルゼンチン戦に勝利した瞬間にコートに倒れこんでしまいが、当時大きな話題になりましたが、私の持っている力の全てを使い果たし、倒れてしまったのだと思います。アジア最終予選での勝利は私の人生の大きな分岐点となりました。試合終了後、キャプテンの荻野君と抱

き合い男泣きしたこと、選手達から祝福の胴上げをされたことは、一生の思い出です。

自分の可能性を求めて

その後、2012年に代表監督を辞任し、2015年までは普及活動に努めましたが、社会性を学ぶためにバレーボール界を離れることを決意し、新日鐵住金（現日本製鐵）大阪支社で2015年から2018年の3年間営業実務を経験しました。

2018年3月末、自分の可能性を更に広げる為に新日鐵住金を退社、早稲田大学大学院に入学し修士を取得しました。大学院では、ブラジルの強化策を研究しました。現在、日本における指導者育成は最重要課題であり、指導資格取得制度など、優秀な人材育成に向けた指針を明確にすることが必要と考えています。私は、これまで様々な挑戦をしましたが、何事も目的と目標を持ち行動につなげることが重要であると考えています。皆さんには、自分の可

能性を信じ目的と目標を明確にし、頑張っていただきたいと思います。



アジア最終予選での胴上げ



『子供たちの夢を叶えるために』

一般財団法人 香川陸上競技協会

会長 詫間 茂

スポーツには、オリンピックを頂点に競技力の向上を目指す競技スポーツと、レクリエーションとして楽しむスポーツ、健康寿命を延ばすための健康スポーツ、そして最良のチームや選手を応援するスポーツ参加型等、幅広く活動されています。

特に競技スポーツに打ち込む選手のひたむきな姿や高い技術は、人々のスポーツへの関心を高め、夢や感動を与える等、活力ある健全な社会の形成にも大きく貢献しています。最近では、ゴルフのマスターズで日本人選手、アジア人選手として初めて優勝した松山英樹選手は、ゴルフファンのみならず全国民に勇気と感動を与えてくれました。

現在、私は一般財団法人香川陸上競技協会の会長をしています。強化委員長として10年、理事長として16年、会長として3年目になりますが、相変わらず高校生・大学生を中心に現場で指導しており、コーチ歴も50年を越えました。この年齢になって

も若い人たちと接する機会があることを心より嬉しく思っています。そして、陸上競技部の教え子も県内で小学校・中学校・高校の教員として100名を超えており、将来ある子どもたちの夢を叶えるため現場で活躍していることも心強く、嬉しく思っています。

私が生徒たちに伝えてきたポイントとして

○競技力⇨人間力（気力・知力・体力・実践能力・コミュニケーション能力）

○応援してもらえ人間になる（一生懸命努力している人は競技力に関係なく周りから応援してもらえる。応援してもらえと目標が達成できる。目標が達成できると社会貢献ができる人間になれる。人生の最終目標は社会貢献。）

○勝ち負けは自分で決める

○体力・技術・精神力（体力を超える技術はない。中学生、高校生、一般、それぞれの体力に応じた技

術がある。）

○栄養摂取の大切さ（麦飯20%…筋力がつきやすい。）

○生徒は先生・指導者を選べない

○指導者のフィルター（同じスポーツを行うにしても「スポーツ指導者のフィルター」というものが色濃くかかるとある。このフィルターは「人間性」であったり「哲学」であったり「社会性」であったりする。スポーツの価値が高まるほど、スポーツ指導者に全人格的な資質や指導内容や方法の「科学性」というものが求められてくる。）

以上のようなことを常々、頭に入れて指導してきました。成果としてオリンピックに3名が出場し、インターハイ、国体、日本選手権等、全国大会で40人を超える選手が優勝してくれました。また、インターハイでフィールド総合優勝も果たすことができました。それにもまして、競技力に関係なく高校生活に部活動を正しく位置づけ、継続は力なりと努力してくれた生徒たちには感謝の気持ちで一杯です。

そして教員を退職して12年間、高齢者の健康教室を公民館や自治会館で年間150日以上実施していま

す。アメリカの研究では、脳トレーニングをしたグループと筋力トレーニングをしたグループを比較したとき、筋力トレーニングをしたグループの方が認知症になりにくいというデータもあります。健康で長生きできることは本人の幸せだけでなく、社会貢献になることも理解していただき、楽しく活動しています。今後も選手育成と高齢者の健康長寿に体力の続く限りかわっていきたいと思っています。



東京2020オリンピック聖火リレー 聖火ランナーの声



三木町聖火ランナー 渡辺 英幸

「来たー！」誰かの叫ぶ声、鈴なりの観衆で溢れかえった旧国道11号線で、私は皆の視線の方向に背伸びしながら目をやりました。彼方からおぼろげに見えるくる集団、雨の中を真っ白なユニフォームを着たランナーが掲げる聖火が近づいてきて、数人で編成されたランナー達が大声援の中、目の前を駆けていきます。当時私は幼稚園の年長組。そうです、私は前回の東京オリンピックの聖火リレーの瞬間を今でも覚えているんです。老若男女を問わず日本中がオリンピック一色に染まり湧きかえっていた1964年の秋の出来事でした。

あれから半世紀以上の時を経て、まさか自分が聖火ランナーとして走ることができようとは、夢にも思いませんでした。私の走行区間は三木町の最終区、その前の区間は私の女友が受け持ち、全国でも珍しいであろう夫婦によるトーチキスが実現し

ました。

バスで持ち場に移動する時、多くの方々が聖火リレーを一目見ようと集まって来ているのを窓越しに見て、オリンピックに対する思いが非常に強いことを感じました。中には、国旗を振って応援しよう構えている高齢の方を目にして、身が引き締まる思いでした。

日曜日の夕方にわざわざ集まっていたいただいた全ての人に感謝しながら、笑顔で楽しく走らせていただきました。一人の区間は僅かですが、数えきれないほどの人が一区間ずつ、それぞれの思いを込めて繋いでいく聖火、国立競技場の聖火台に灯る瞬間は感激もひとしおだろうと今からワクワクしています。



高松市聖火ランナー 市ヶ谷 奈々

私は2度のオリンピックを経験している父と私より先に競技を始めた姉の影響を受けて小学2年生からフエンシングを始めました。

始めた当初は負けてばかりだったため、泣きながら練習に取り組んでいましたが、徐々に試合で成績が出はじめると誰よりも勝ちたいという気持ちが強くなり、小学5年生では全国大会で3位に入賞、初めての国際大会（オーストラリア）も経験しました。それを機に、シンガポールや中国の国際大会でメダルを獲得し、勝つ事の満足感を味わい、どんな欲が湧いてきて、最終的にはオリンピックで金メダルを獲得することを目標に日々の練習に取り組むようになりました。

今回の東京オリンピックには年齢的に間に合わず、選手として参加する事はできませんでしたが、自分が将来オリンピックで金メダルを獲得するためにも、何らかの形で東京オ

リンピックには関わりたいという思いで聖火ランナーに応募しました。

実際走ってみての感想は、高松市の第1走者ということで市長さんから聖火を受け継ぎ感動と興奮でワクワク、ドキドキしながら走りました。そして沿道の方々の拍手や笑顔に囲まれて走った200mは、まるで自分が有名人になったかのようにとても気持ちよく、優越感を感じる事ができました。

今回の貴重な経験を将来の自分の選手生活に必ず生かし、応援していただいた方々へ恩返しできるといいから、これからも頑張りたいと思います。



直島町

『直島フレンドパーク』

直島町スポーツ推進委員会では、平成30年度から毎年町内各地区の子どもとその保護者を対象に「直島フレンドパーク」を開催しています。

令和2年度は、5種目の競技(キックターゲット・シャッフルボール転がし・室内グラウンドゴルフ・頭で

ボールキャッチ・激ムズディスク通し)を行いました。スポーツ推進委員による競技内容説明及びデモンストラクション・準備体操のあと、参加者は親子などでペアを組み、練習を行い、各競技にチャレンジしました。競技終了後、競技スコアの集計を行なう間、みんなでドッジビーをし、集計後には表彰式を行いました。

今回行った競技の中で室内グラウンドゴルフが一番の魅力です。野外のグラウンドゴルフとやり方は同じですが、ペアで交互に打ち、カップインするまでの4ホールのトータル打数を競います。OBになった場合、出たところの一番近いラインから再開します。フロアに段ボールやすだ

れ、ミニコーンなど障害物を設置し、子どもだけではなく大人にも難易度の高い競技となりました。

直島フレンドパークは、体力差、年齢差に関わらず競技を楽しむことができます。また、ペアで競技をするので思いやりなどといった大切な事柄も学ぶことができます。

今後とも、子どもたちが伸び伸びと体を動かす行事を継続的に行うことはもちろん、子どもたちが自ら学び・成長する場をつくっていききたいと考えています。



連絡先 直島町育委員会

電話 087・892・2882

FAX 087・892・3888

まんのう町

『スポーツ再発見』

『ことなみ未来会議』 『スポーツ部会』

まんのう町琴南地区では過疎少子化が色濃くなっており、地域交流の維持も困難になってきています。そんな折、行政からの旧琴南中学校の利活用検討会への参加募集に有志が集いました。この会が現在「ことなみ未来会議」として、旧琴南中学校である「ことなみ未来館」を中心に活動を行っています。

ことなみ未来会議では部会ごとに活動しており、その中のスポーツ部会では発足当初、現インストラクターの発案で健康体操と本町オリジナルの「まんのういきいき体操」で月二回の活動をスタート。徐々に参加者も増え、50代から80代まで30名を数えるほどになりました。参加者からは「体が軽くなった」「来るのが楽しみ。」「若くなった。」など好評を得ています。

運動場では、グラウンドゴルフも月二回実施。大会も含めると40名ほ

どの参加があります。また、体育館でも「琴南ギネス大会アジャター(スポーツ玉入れ)」の参加者も募集しています。

スポーツ部会長の山下さんは、「地区の行事での紹介体験等が認知度上昇に必要なと思っている。地域の拠点となりつつある【ことなみ未来館】。地域の憩いの場となるべくスポーツで地域交流を、生活の中にスポーツ感覚を今後のテーマとし、他の部会の人たちとも想いを共有し進んでいきたい。」と語っています。



連絡先 まんのう町教育委員会

生涯学習課

電話 0877・89・7100

FAX 0877・89・8100

第32回県民スポーツ・レクリエーション祭を開催します!!

だれもが気軽に、それぞれの年齢や体力、目的にあわせてスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、これを契機に、県民の皆さんが健康で豊かなスポーツライフを営んでくださることを目的として、今年も県民スポレク祭を開催します。



開会式の様子

《ふれあいスポレク広場》

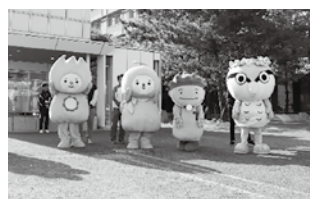
11月23日(火・祝)に屋島レクザムフィールドで行われる自由参加の体験コーナーです。参加無料です。

No	種目名	No	種目名
1	いきいきらくらく3B体操	10	健康相談
2	ステップ21楽しく・エクサ	11	スポーツウエルネス吹矢体験
3	キンボールスポーツ	12	スナッグゴルフ
4	ニュースポーツ・レクリエーション	13	ボールルームダンス
5	レク式体力チェック	14	香川プロスポーツ
6	竹とんぼ教室	15	グラウンド・ゴルフ体験
7	車いすに乗ってスポーツ体験をしよう	16	ペタンク体験
8	アウトドアチャレンジ 野外力検定	17	讃岐っ子チャレンジ大会
9	体力テスト	18	各団体啓発ブース

《レクリエーション大会》

11月23日(火・祝)に屋島レクザムフィールドとその周辺で行われるレクリエーション3種目です。当日申込も受け付けます。

No	種目名
1	オリエンテーリング
2	ファミリーサイクリング
3	ウォーキング



ゆるキャラも登場



ニュースポーツに挑戦

ステージイベント出演者募集!

屋島レクザムフィールドの特設ステージで行うステージイベントの出演者を大募集します。ダンス、大道芸、観客の皆さんと共に楽しめる素敵な企画をお待ちしています。

※詳しくは、7月中旬にホームページ「かがわスポーツ情報ネット」掲載する募集案内で確認してください。



※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止になる場合があります。

かがわのスポーツ・レクリエーション

《スポーツ大会》

9・10月を中心に実施します。団体に登録してなくても参加できます。
家族や友だちを誘って、スポーツで心地良い汗を流しましょう！！



No	種目名	会場	期日
1	ママさんバレーボール	飯山総合運動公園体育館 他1会場	6/20(日)中止
2	スポーツウエルネス吹矢	スポーツセンターまんのう体育館	7/17(土)
3	インディアカ	飯山総合運動公園体育館	8/22(日)
4	グラウンド・ゴルフ	高松市東部運動公園	9/2(木)
		さめき空港公園	9/24(金)
		瀬戸大橋記念公園	10/6(水)
5	ペタンク	坂出市番の州多目的広場	9/2(木)
6	キッズサッカー	瀬戸大橋記念公園球技場	9/4(土)
7	親子バドミントン	飯山総合運動公園体育館	
8	ホッケー	綾川町ふれあい公園人工芝グラウンド	9/5(日)
9	ボウリング	太洋ボウル	
10	パドルテニス	高松市牟礼総合体育館	
11	ソフトボール(壮年、女子)	丸亀市土器川公園ソフトボール場	
12	実年者バレーボール	観音寺市総合体育館 他	9/12(日)中止
13	年齢別ラージボール卓球	高松市西部運動センター体育館	9/12(日)
14	ゲートボール	さめき空港公園イベント広場	9/15(水)
15	ターゲット・バードゴルフ	瀬戸大橋記念公園TBG場	9/19(日)
16	ソフトバレーボール	高松市香川総合体育館	
17	クレー射撃	高松国際射撃場	9月予定
18	バウンドテニス	未定	
19	ミニテニス	高松市立香南中学校体育館	9・10月
20	合気道	県立武道館	10/24(日)
21	男女綱引	高松丸亀町商店街壱番街前ドーム広場	11/3(水)
22	エアロビック	調整中	11月
23	ポッチャ	調整中	調整中
24	卓球バレー	調整中	調整中
25	ふうせんバレーボール	調整中	調整中
26	マウンテンバイク	調整中	調整中
27	3×3バスケットボール	調整中	調整中

《参加申込み》

スポーツ大会、レクリエーション大会は、要項に従ってそれぞれの主管団体へお申込ください。実施要項及び参加申込書は、7月上旬頃県立体育施設や各市町教育委員会などに配布の予定です。

また、保健体育課ホームページからもダウンロードできるようになります。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、大会が延期・中止になる可能性があります。

多くの方の参加をお待ちしています！

<詳しくは>

県教育委員会事務局 保健体育課 生涯スポーツ担当まで

T E L 087 - 832 - 3762

F A X 087 - 806 - 0235

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/hokentaiiku/taiiku-sports/syogai/lifesports.html>

うどんツルツル！
スポーツスルスル！



令和3年度 生涯スポーツ指導者養成講座

この講座は、スポーツに関する理論と実技についての研修を深め、県民のスポーツニーズに適切に対応できる指導者の育成をめざしています。

スポーツに興味があり、スポーツ指導者を志す方々の参加を募っています。また、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツリーダー資格の取得が可能です。(条件：第4回～6回の講義を受講、認定試験に合格、18歳以上・テキスト代・認定料有料)

主催 香川県教育委員会
 受講料 無料
 申込・問合せ先 香川県教育委員会事務局保健体育課
 スポーツグループ ☎087-832-3762 (直通)



昨年度の一コマ：テーピング基礎

回	日時	場所	内容
1	6月20日(日) 9:30~16:00	県青年センター	(実技) 救急法(心肺蘇生法・AED講習) 健康づくり運動の理論と実践
2	6月27日(日) 9:30~15:30	県青年センター	(実技) テーピング基礎 競技力向上・傷害予防のための トレーニング・コンディショニング
3	7月 4日(日) 9:30~15:30	県青年センター	(実技) 障がいのある方とスポーツ アクティブ チャイルド プログラム
4	9月 5日(日) 9:30~16:00	県青年センター	(講義) トレーニング論Ⅰ・スポーツと栄養 文化としてのスポーツ 地域におけるスポーツ振興
5	9月12日(日) 9:30~16:00	県青年センター	(講義) 指導者の役割Ⅰ ジュニア期のスポーツ・指導計画と安全管理
6	9月19日(日) 9:30~16:00	県教育センター	(講義) 総合型地域スポーツクラブについて スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ (資格認定試験は16:00~17:00)

第69回 香川県青年大会 県内の勤労青年のために

この大会は、日頃から地域で様々なスポーツや文化活動などに取り組んでいる勤労青年たちが集まり、活動の成果を発表する場です。

また、参加者それぞれがその技術と成果を競い合うことにより、青年同士の友好・連帯を深め、これを通して健全な郷土社会の建設に寄与することをめざし開催するものです。

たくさんの方々のご参加と応援をお願いいたします。

主催 香川県連合青年会
香川県教育委員会

「参加資格」

一 昭和61年4月1日以降に出生した者(競技によってOA枠あり昭和56年4月1日以降の出生した者)

二 令和3年5月1日から引き続き香川県内に住民登録のある者
 ※大学生等の学生も参加できるようになりました。香川県青年大会基準要項によりご確認ください。

「文化の部」

(日程) 令和3年9月5日(日)
 (会場) 香川県青年センター(予定)
 (種目) 合唱、郷土芸能、写真展、将棋、生活文化展、意見発表、舞台発表、のどじまん

「体育の部」

(日程) 令和3年9月5日(日)
 (会場) 香川県青年センター等(予定)
 (種目) バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、柔道、剣道、軟式野球、ボウリング、フットサル

※本大会の成績に基づいて、全国青年大会への派遣チーム・参加者等が決定されます。

※昨年度は全国青年大会の延期に伴い、香川県青年大会も延期とし、スポーツ交流を行いました。本年も感染症の状況次第では、延期や中止とさせて頂く場合もありますので、ご了承ください。



※写真は一昨年の大会の様様

令和4年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ） 競技会場・競技日程が決定しました

令和3年4月26日（月）に開催された、令和3年度第1回全国高等学校総合体育大会中央委員会（主催：公益財団法人全国高等学校体育連盟）において、令和4年度に四国4県で開催されるインターハイ「躍動の青い力 四国総体 2022」の競技会場・日程が承認され、決定いたしました。

なお、香川県開催競技等9競技10種目については次のとおりです。

競技名	競技日程	競技会場
体操（新体操）	8月13日（土）・14日（日）	高松市総合体育館
バスケットボール	7月26日（火）～8月1日（月）	高松市総合体育館
	7月27日（水）～30日（土）	高松市香川総合体育館
	7月27日（水）～29日（金）	丸亀市民体育館
	7月27日（水）・28日（木）	善通寺市民体育館
バレーボール（男子）	8月3日（水）～7日（日）	丸亀市民体育館
	8月4日（木）～6日（土）	善通寺市民体育館
	8月4日（木）・5日（金）	三豊市総合体育館
登山	8月5日（金）～9日（火）	ことなみ未来館（旧琴南中学校）他
自転車（トラック）	8月4日（木）～6日（土）	高松競輪場
自転車（ロード）	8月7日（日）	綾川町特設ロードレースコース 他
フェンシング	8月4日（木）～8日（月）	高松市総合体育館
アーチェリー	8月8日（月）～10日（水）	Pikaraスタジアム（香川県立丸亀競技場）
なぎなた	8月12日（金）～15日（月）	丸亀市民体育館
カヌー	8月2日（火）～6日（土）	坂出市府中湖カヌー競技場

（参考：四国他3県 開催競技等）

県名	競技種目
徳島県 （6競技6種目）	総合開会式／陸上競技／バレーボール（女子）／サッカー／バドミントン／弓道／ホッケー
愛媛県 （8競技8種目）	体操（体操競技）／卓球／ソフトテニス／ハンドボール／柔道／ボート／ウエイトリフティング／空手道
高知県 （8競技10種目）	水泳（競泳・飛込・水球）／ソフトボール／相撲／剣道／レスリング／テニス／ボクシング／少林寺拳法

※ ヨット：令和6年度まで和歌山県で固定開催



躍動の青い力 四国総体 2022

燃え上がれ 我らの闘志 四国の大地へ

かがわのスポーツ・インフォメーション

めざせ！未来のトップアスリート！

令和2年度スーパー讃岐っ子育成事業活動報告

スーパー讃岐っ子育成プログラム

「スーパー讃岐っ子育成事業」は、将来、国際舞台で活躍する本県選手を育てるため、スポーツの豊かな素質をもつ小学生を発掘・育成する取り組みです。事業開始12年目となる令和2年度は、3学年計97名（6年生35名・5年生36名・4年生26名）で活動しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた全てのプログラムを実施することはできませんでしたが、感染症対策を行いながら、競技体験や身体能力の向上をねらいとしたプログラム、子どもたちをサポートする保護者を対象としたプログラムなどを実施しました。



	プログラム内容
6年生（10期生） 実施回数：14回	運動基礎Ⅰ、運動基礎Ⅱ ライフル射撃、陸上競技、ハンドボール、カヌー、 フェンシング、レスリング、ボクシング、なぎなた、 ウエイトリフティング、サッカー、バスケットボール 体力測定会 マウスピース説明会（保護者プログラム） 修了式
5年生（11期生） 実施回数：13回	募集・実技選考（追加生） 運動基礎Ⅰ、運動基礎Ⅱ トランポリン、飛込、カローリング、銃剣道、 スケート、スポーツクライミング、陸上競技 体力測定会 栄養学（保護者プログラム）
4年生（12期生） 実施回数：3回	募集・実技選考 運動基礎Ⅰ 陸上競技 体力測定会

スポーツ体験プログラム

小学校3・4年生の約80名が、走・跳・投の基礎動作を中心に計4回のプログラムに参加しました（5回目は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）。

各競技の専門の指導者から実技指導を受けたほか、マイスポーツ発見プログラムにおいては、ウエイトリフティングやホッケーなど普段の学校・家庭生活中で経験できないような競技を体験しました。また、保護者を対象にスポーツと栄養についての講義も行いました。



回	月	日	曜日	会場	内容
1	9	13	日	Pikaraスタジアム	走動作（香川陸上競技協会）
2	10	17	土	Pikaraスタジアム	跳動作（香川陸上競技協会）
3	12	12	土	Pikaraスタジアム	投動作（香川県小学校体育連盟） 保護者プログラム「スポーツと栄養」 （四国学院大学 副学長 漆原 光徳 氏）
4	12	19	土	丸亀市民体育館	マイスポーツ発見プログラム（各競技団体）





つなげていきます スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

スポーツくじ  